

当館の美術普及事業には宝くじの収益金の一部が使われています。
茨城県陶芸美術館

利用のご案内

開館時間 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し翌平日休館)
11月4日㊟、12月28日㊟～1月1日㊟㊟ ※臨時開館は11月2日㊟

観覧料 ()内は20名以上の団体料金

	一般	高齢者(70歳以上)	高校生等	小中学生
企画展				
吉田璋也のデザイン — 新作民藝運動がめざした未来	950(770)円	470(380)円	710(590)円	360(290)円
ガレの陶芸II — 奇想と幻想の造形世界	950(770)円	470(380)円	710(590)円	360(290)円
THE HEADLINERS 2026	950(770)円	470(380)円	710(590)円	360(290)円
笠間陶芸大学校10周年記念展(仮称)	950(770)円	470(380)円	710(590)円	360(290)円
リサ・ラーソン追悼展 — アーティスト・デザイナー・インスピレーションの源	950(770)円	470(380)円	710(590)円	360(290)円
コレクション展・テーマ展	360(290)円	180(140)円	290(240)円	180(150)円

※令和8年4月1日現在の料金。条例改正に伴い、料金を変更する場合があります。
※企画展開催期間中は、企画展の観覧料ですべての展示室が観覧できます。
※企画展開催期間中でも、コレクション展・テーマ展のみの観覧ができます。

■共通年間パスポートの案内(購入日より1年間有効)
茨城県立美術館(近代美術館、天心記念五浦美術館、陶芸美術館)の各美術館で販売中。一般3,550円 高校生等2,370円 小中生1,180円

■次の項目に該当する方は、無料で観覧会をご覧いただけます。
1 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方及び付き添いの方(ただし1人につき1人まで)
2 土曜日に入館する小・中・高校生(ただし、長期休業日に当たるときは除きます。)
※上記1・2の該当者は、受付で確認できるものの提示をお願いします。
3 教育課程に基づく教育活動として入館する茨城県内の学校の児童生徒及び引率者(県外の特別支援学校を含む・事前に減免申請をしてください。)
4 児童福祉施設、障害者支援施設、老人福祉施設に入所している方及び引率者など(事前に減免申請をしてください。)
※5/30㊟、9/15㊟～9/21㊟㊟、11/28㊟、1/23㊟は、満70歳以上の方は無料になります。
※茨城県民の日(11/13㊟)は、全ての方が無料になります。

■友の会(年会費)

	一般成人	一般学生	家族会員(二人)	特別(個人・法人)
	3,000円	2,000円	5,000円	20,000円

<アクセス>
電 車 / JR常磐線友部駅からかさま観光周遊バス
または、JR水戸線笠間駅からタクシー(5分)、バス(茨城交通)
車 / 北関東自動車道、友部I.C.から10分、笠間西I.C.から15分
駐車場 / 笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用ください。

お客様へのお願い

- 禁止マークのある作品の撮影はご遠慮ください。また、撮影可の作品でもフラッシュ、三脚(一脚)の使用および動画の撮影はご遠慮ください。
- 展示作品及び展示ケースには、手を触れないでください。
- 携帯電話、スマートフォンは電源を切るかマナーモードにし、通話はご遠慮ください。
- メモをとる際は鉛筆以外の筆記具(消しゴムを含む)の使用はご遠慮ください。
- 展示室内では、一切の飲食(飴やガムを含む)をお断りします。
- 他のお客様の観覧の妨げにならないよう、大きな声での会話はご遠慮ください。

作品及び鑑賞環境保護のため、皆様のご協力をお願いします。

茨城県陶芸美術館

IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地 [笠間芸術の森公園内]
Tel. 0296-70-0011 Fax. 0296-70-0012

HP Instagram Facebook

ときめく 知る 楽しむ

「クラモン」
茨城県陶芸美術館
教育普及キャラクター

～あらたな出会い
あなたとの出会い～

茨城県陶芸美術館

展覧会年間スケジュール

2026.4 ▶ 2027.3

企画展 1

吉田璋也のデザイン
— 新作民藝運動がめざした未来

吉田 璋也(デザイン)、虎尾 政次
「伸縮式中折傘電気スタンド」
1932年 鳥取民藝美術館蔵

企画展 2

ガレの陶芸II
奇想と幻想の造形世界

エミール・ガレ「圓形 猫形」
1864年頃-1904年 個人蔵

企画展 3

THE HEADLINERS 2026

塩澤 宏信「鳥賊耳になりました」
2025年 個人蔵

企画展 4

笠間陶芸大学校10周年記念展(仮称)

川井 雄仁「ひまわり」
2025年 個人蔵

企画展 5

リサ・ラーソン追悼展
— アーティスト・デザイナー・インスピレーションの源

リサ・ラーソン「丸形の家族」
1959年-1960年
リサ・ラーソン蔵
©Lisa Larson / Sanna Argus Tirén

施設等のご案内

■県民ギャラリー [2F] ①

幅広い創作活動発表の場として貸し出しています。展覧会の規模により分割使用もできます。

■第2展示室(展示コーナー) [2F] ②

現在活躍中の工芸作家の作品を中心に様々なテーマを設け、紹介します。

■屋外展示広場 [1F 外北側] ③

屋外ならではの自由な空間にいくつもの作品が展示されています。

■板谷波山口ロケセット [1F 外北側] ④

映画「HAZAN」(平成16年)のために製作されたロケセット。波山が明治36年に東京都北区田端に建てた住居兼工房を再現したものです。

■第1展示室 [1F] ⑤

当館の収蔵品を中心に、近現代日本陶芸の展開を紹介しています。

■インフォメーション(総合案内) [1F] ⑥

チケット販売のほか、展覧会情報や館内施設のご案内、車いす・ベビーカーの貸出、授乳室のご利用受付などを行っております。

■多目的ホール [1F] ⑦

150名収容の多目的ホールでは、「やきもの」に関する映像の上映や美術講演会等の催しを行います。

■ミュージアムショップ [1F] ⑧

企画展の図録をはじめ、笠間焼から人間国宝まで幅広い作品がご購入いただけます。

■レストラン風の丘 [1F] ⑨

四季の変化が楽しめる眺めのよいレストランで、地元の食材を活かした美味しい料理を笠間焼の器でお楽しみいただけます。

■企画展示室 [B1] ⑩

陶芸を中心とする国内外の優れた工芸作品を鑑賞できるよう、幅広い視野で多彩な企画展を開催します。

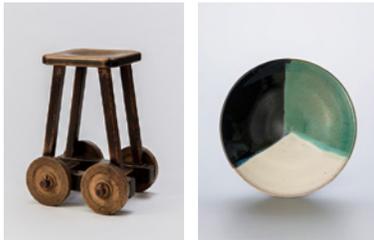
展覧会のご案内 Exhibition Information [2026.4 ~ 2027.3]

企画展 1

吉田璋也のデザイン — 新作民藝運動がめざした未来

2026年 3月14日(土) ~ 6月21日(日)

吉田璋也は医師でありながら、民藝のプロデューサーとして日用品を自らデザインし、生産・流通・販売の体制を確立し、民藝運動に生涯を捧げました。本展では、伝統的な手仕事を現代の生活に根付かせるためにデザインした陶器や家具など「新作民藝」を、作品や資料297点をご紹介します。



吉田 璋也 (デザイン) 「医師用車輪付椅子」 1952年 個人蔵
吉田 璋也 (デザイン)、牛ノ戸焼 「緑釉白釉黒釉三方掛分皿」 1957年 鳥取民藝美術館蔵

企画展 2

ガレの陶芸II 奇想と幻想の造形世界

2026年 7月11日(土) ~ 9月23日(水・祝)

19世紀末、アール・ヌーヴォーの時代に活躍したフランスの工芸デザイナー、エミール・ガレ (1846~1904) の、陶芸作品に焦点を当てた展覧会の第2弾。第1弾とは全て異なる作品約100点で、その少し不思議でユニークなデザインの背景と魅力に迫ります。



エミール・ガレ 「鉢 蜻蛉文」 1864年頃-1904年 個人蔵
エミール・ガレ 「蓋物 虫形」 1864年頃-1904年 個人蔵

企画展 3

THE HEADLINERS 2026

2026年 10月10日(土) ~ 12月13日(日)

茨城県陶芸美術館ならではの多角的な視点で日本各地を調査し、陶芸の今を映し出すシリーズ企画「THE HEADLINERS」の第3弾です。「伝統も/オブジェも/食器も/みなアート」という言葉のもと、今年も個性の光る新たな作家たち10余名をご紹介します。



西久松 友花 「蘇生」 2025年 個人蔵 ©Takeru Koroda
フクオカタカヤ 「komorebi teacup & saucer 輪」 2015年 個人蔵

企画展 4

笠間陶芸大学10周年記念展 (仮称)

2027年 1月2日(土) ~ 3月7日(日)

茨城県立笠間陶芸大学の開校10周年を記念し、その教育の成果と、そこから巣立った卒業生たちの現在の活動を紹介します。卒業制作や公募展入選作などを通して、同校の取り組みの現代陶芸における多様な表現の広がりをご覧いただけます。



アイザワリエ 「繻」 2021年 茨城県陶芸美術館蔵

企画展 5

リサ・ラーソン追悼展 —アーティスト・デザイナー・インスピレーションの源

2027年 3月20日(土) ~ 6月(予定)

スウェーデンのデザイナーであり陶芸家でもあるリサ・ラーソン (1931~2024) の作品は、モダンデザインの流れを汲むと同時に、日常の親密な世界がチャーミングに表されており、世界中を魅了し続けています。展覧会では、2024年に亡くなったリサを追悼し、創造の源をたどります。



リサ・ラーソン 「ブルドック/ケンネルシリーズ」 グスタフスベリ社 1972年 リサ・ラーソン蔵 ©Lisa Larson / Sanna Argus Tirén

コレクション展 (第1展示室)

近現代日本陶芸の展開

「近現代日本陶芸の展開」をテーマとして現代の日本陶芸を中心に、近現代の陶芸の歩みを語る上で欠かせない作家と作品を紹介しています。

また茨城県の作家については文化勲章受章者の板谷波山や「練上手」の重要無形文化財保持者(人間国宝)松井康成をはじめ、オブジェなどの作品やうつわ作品も含めて幅広く紹介します。



鈴木 麻起子 「Turkish」 2016-2017年



水元 かよこ 「うさみみ POP」 2016年



板谷 波山 「葆光彩磁葡萄紋様花瓶」 1922年 茨城県指定有形文化財



松井 康成 「練上嘯碧手大壺 深山紅」 1981年



佐藤 雅之 「水の果 (虚21-03)」 2021年

テーマ展 (第2展示室)

テーマに基づき、現在活躍している陶芸作家の作品を中心に、ガラスや染織、革などを含む現代の工芸についても幅広く紹介します。



Events Calendar 2026

	4 APR	5 MAY	6 JUN	7 JUL	8 AUG	9 SEP	10 OCT	11 NOV	12 DEC	1 JAN	2 FEB	3 MAR
企画展 (企画展示室)	吉田璋也のデザイン — 新作民藝運動がめざした未来			ガレの陶芸II 奇想と幻想の造形世界			THE HEADLINERS 2026			笠間陶芸大学10周年記念展 (仮称)		リサ・ラーソン追悼展 — アーティスト・デザイナー・インスピレーションの源
コレクション展 (第1展示室)	コレクション展II・III		新収蔵品展				コレクション展II		コレクション展III			
テーマ展 (第2展示室)	テーマ展		新収蔵品展 (第2会場)		第25回 全国子ども陶芸展 in かさま		国立美術館 コレクション・プラス 近代ヨーロッパの工芸とデザイン (仮称)		笠間陶芸大学10周年記念展 (仮称) (第2会場)		テーマ展	
県民ギャラリー	吉田璋也のデザイン — 新作民藝運動がめざした未来 (第2会場)		あとにつぐ展		全国子ども陶芸展 in かさま		第25回 全国子ども陶芸展 in かさま		それぞれの眼差しから Vol.9		素朴な写真展	

◎展覧会名、会期、出品作品等は変更になる場合があります。

イベント等のご案内 (詳しくはHPをご覧ください)

- コレクション 見どころガイド
ミュージアムアシスタントが当館のコレクションを紹介します。
水・金・日・祝 14時~ (予約不要/20分程度)
- ギャラリートーク アーティストトーク
担当学芸員や出品作家が展覧会の見どころを分かりやすく紹介します。
- 講演会
多彩な講師が美術や工芸について講演を行います。
- ワークショップ
大人から子どもまで楽しめる、さまざまなテーマのワークショップを開催します。
- 呈茶会
当館ならではの趣向を凝らした呈茶会です。
- 読み聞かせ会・落語会
どちらも大人から子どもまで楽しめる「おはなし」の会です。